

全国高等学校総合文化祭 日本音楽部門(広島県福山市8月1日～2日)

平成28年8月1日～2日に広島県福山市で開催された第40回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門に青森県代表として4年連続で出場してきました。

私たちは、長沢勝俊作曲の『箏四重奏曲』を精一杯演奏しました。この曲は四つのパートの掛け合いと、メロディやリズムのダイナミックな変化が特徴的です。全国大会でも常連校が演奏する難易度が高い憧れの曲です。この曲を3年生4人が各パートリーダーになり、基本のアンサンブルはもとより、細かな曲の表現までも指導し、部員たちの心を一つにまとめたと思います。当日は落ち着いて、自分たちなりの『箏四重奏曲』を演奏できました。いつも応援してくださる皆様に感謝申し上げます。

福山で生産される「福山琴」は江戸時代から伝統工芸品として大事に扱われ、今では琴の生産の70パーセントが福山で生産されているそうです。このような「琴の聖地」で部員たちは、琴の魅力や奥深さを一層感じとることができたような気がします。



ふくやま芸術文化ホールでの記念撮影



前日のリハーサル風景